

2023年度(第48回)



全国伝統的工芸品公募展

応募要項

応募期間： 2023年10月1日(日)～10月31日(火)必着

お申込みは Web または 郵送 で



☞公式WEBページでは

- ◆スマホ・PCで入力できる「応募フォーム」
- ◆応募要項など各種書類PDF
- ◆よくある質問をまとめたQ&A集

…などを公開中です。ぜひご活用ください

<https://kyokai.kougaihin.jp/kouboten/>

★郵送でお申し込みの方は、同封の「郵送用応募票」をご利用ください

主催：一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会(略称：伝産協会)

後援(予定)：経済産業省・中小企業庁・日本商工会議所・全国商工会連合会・全国中小企業団体中央会

主旨

長い間受け継がれた伝統的技術・技法に、現代生活の中で使われるための新しいアイデアや表現を取り入れた、市場性のある伝統的工芸品を公募し、魅力あふれる製品の開拓を行う目的で行います。生活の中で実際に使用または飾ることができ、日常に潤いを与え、暮らしが楽しくなるような作品を募集いたします。国内だけでなく世界のマーケットにも通じ、いつまでも大切に使いたくなる作品をお待ちしております。

●審査基準

1. 製造技術が範となる水準であること。
2. 用途を備え、用途に応じた機能、大きさ、重さ、意匠、耐久性を有すること。
3. 継続的に受注生産に対応できること。
4. 販売可能性が疑われる価格設定でないこと。
5. 作り手の独自のアイデアを生かした意匠や技術が見られるもの。
6. 現代のくらしの中で存在感を有するもの。

●期待する作品

- ・ 使い手の日々が楽しくなり、明日から一生使える作品
- ・ 現代生活に取り入れられるために新しいアイデアをプラスした作品
- ・ 「生活に取り入れたい！」と思える消費者の意識をとらえた作品
- ・ 工芸品としての本質的な魅力を引き立たせながらも、新たなかたちで表現した作品



(2022年度受賞作品例)

国立新美術館



昨年度の展示会の様子



東京・六本木にある「国立新美術館」にて展示会を開催し、2022年は約6,800の方が来場し、工芸品の素晴らしさについて知って頂く好機とすることが出来ました。

本年も応募頂いた**全ての作品を国立新美術館にて展示し、一般来場者への公開を実施いたします。**

また、入賞・入選作品は国立新美術館の展示会終了後に「伝統工芸 青山スクエア」でも展示を実施いたします。

皆様の作品を世に問う絶好の機会となりますので、奮ってご応募ください。

入賞作品PR

●全国伝統的工芸品公募展 優秀作品展

入賞、入選した作品を伝統工芸 青山スクエアにて展示いたします。

会期：2023年12月22日(金)～2024年1月11日(木)

時間：11：00～19：00初日12：00～、最終日18：00まで)

(12月29日(金)～1月3日(水)は休館)

会場：伝統工芸 青山スクエア 東京都港区赤坂8-1-22

●その他

- ・ 入賞、入選作品の一部を協会が購入予定。
- ・ 入賞作品については様々な場面でPRし、広く発信していくことを検討しています。
- ・ 協会PR画像として広告、SNSなどに利用予定。
- ・ 協会主催イベントにて出展コーナーを設置予定 etc…



全体スケジュール

過去公募展と異なる部分がございます。また、各項目のページに注意事項を記載しておりますので必ずお読みください。

項目	期間及び開催期間
応募期間	2023年10月1日(日)～10月31日(火)必着
手数料納付期間(振込)	2023年10月1日(日)～11月3日(金)
応募作品搬入	送付：2023年11月6日(月)～11月8日(水)協会必着 協会への直接搬入：2023年11月7日(火)～11月8日(水) 午前 11：00～13：00 / 午後 14：00～16：00
審査会	2023年11月29日(水)
審査結果公開 (HP掲載)	2023年11月30日(木) ※今回から速報も審査会当日ではなく上記スケジュールとなります
展示会	2023年12月1日(金)～12月11日(月) ※12月5日(火)は休館 会場：国立新美術館 / 展示対象：全応募作品
優秀作品展	2023年12月22日(金)～2024年1月11日(木) ※12月29日(金)～1月3日(水)は休館 会場：伝統工芸 青山スクエア / 展示対象：入賞入選作品
授賞式 (受賞者対象)	2024年1月18日(木) ※予定 会場：明治記念館
返送	全作品当協会より順次返送いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大状況等により、スケジュール等は変更する可能性がございます。

お問い合わせ

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 企画部

〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-22

TEL：03-6432-9335

e-mail：kouboten@kougei.or.jp

HP：https://kyokai.kougeihin.jp/

Q&A

以下のサイトによくある質問をまとめました。

応募の際にご参考ください。



URL：https://sites.google.com/view/kouboten-help

※必ず内容をご確認ください。**●応募資格**

経済産業大臣指定伝統的工芸品及びこれに準じる伝統工芸品を生業として製作する個人、グループ(製作者と共同出品するプロデューサーを含む)、企業、産地組合、団体等。

※カルチャースクール・個人教室の受講者、学生、職業訓練生等は対象となりません。

●応募条件および注意事項

1. 全国規模及びそれに準ずるコンクール(「日本伝統工芸士会作品展」を含む)に応募していないこと。
2. 製造工程のうち、製品の持ち味に大きな影響を与える部分は、手作業であること。
3. 日本国内で製造されたもの。※国内再加工品の漆器は可
4. 日用品を対象とし、特定の職業に使用されるためでなく日常生活において使用されるものであること。
※使用にあたり特別な資格・技術等を必要とするもの、想定された使用用途に耐えられないものは不可。
5. 名前が前面に出ている等、自社や工房の宣伝につながる作品は不可。
6. 販売可能であること。また、市場性を有した価格帯であること。
※価格も評価項目のため年間据え置きとすること。審査後の価格変更は不可。
7. 継続的に受注生産に対応可能であること。
※入賞後に継続的受注販売が不可であることが判明した際には、受賞を取消す場合があります。
8. 一部に新しい素材を使用した工芸品を応募する場合は、新素材の名称・使用理由・使用方法を明示すること。
※リサイクル・リフォーム商品は不可。
※合成樹脂製品など環境負荷が懸念される材料は不可。
※プラスチックに漆を塗布した作品は不可。
※その他伝産協会が認めたものに限る。
9. 展示の際、縦横が1.5m以内、高さが1.8m以内であること。
10. 特殊な取り扱いが必要ではなく日常生活の中での耐久性があること。また、展示の際、スポットライトを当てる場合があります。
※展示会場において適切な管理ができないと判断される場合は、ご出品をお断りする場合があります。
11. 設置・組み立てに特別な技能を要さず、委託展示が可能であること。展示、管理方法はご希望に添えない場合があります。
12. 用途の異なる製品をセット製品とすることはご遠慮ください。
※組(セット)での応募の場合は、バラではなく組(セット)として販売することを前提に審査・展示を行います。
※組とは煎茶器セットのように通常セットで販売されるものを指します。
13. 意匠権等は応募者に帰属しますが、展示や画像の掲載等は主催者が優先とします。
14. 入賞もしくは入選後に応募作品が本展応募条件及び要項と不適合な点が判明した場合、応募をお断りもしくは入賞・入選を取り消すことがあります。

補足**●織物・染色品の応募作品について公募展が求める作品**

「着物＝日常着」でなくなった現代において、単に価格が安い、色柄が美しいということではなく、他にはない特別感・独自性があり、購入者が、着てみたい、周りに自慢したいと思えるような「自分だけの特別な一品」となる作品を求めます。

●【刃物作品】の応募について

会場の都合上、事前にどのような作品があるかを会場側に連絡しますので、なるべくお早いご応募をお願いいたします。また、応募が遅くなる場合は、こういった作品(サイズ等)を応募予定かご一報ください。



応募の「区分」をチェックする

区分は3つあり、応募票の記載内容が変わります

- 製作者本人が応募する → **製作者本人**
- プロデューサーが応募する → **プロデューサー**
- 異なる産地が共同製作して応募する → **コラボ**

※ 「コラボ」は、複数の異なる産地の伝統技法を用いて1つの作品を共同製作した場合を指します。
 なお1つ1つ単品の工芸品を組み合わせた場合はコラボとはみなしません。
 ※ 同業種であっても、産地が異なる場合はコラボとなります。
 例／笠間焼と赤津焼が共同製作した場合 → コラボ
 ※ コラボ応募の場合、業種別ではなく「コラボ」という分類の中で審査いたします。

スマホ・パソコンで簡単応募！

- ・申し込みはWebで行う方法と郵送の2通りが可能です。(FAX不可)
- ・複数作品応募の場合は、作品ごとにお申し込みを行ってください。

方法① Webで申し込み 手順

● スマホまたはパソコンで以下のサイトにアクセス

<注意> 応募期間前にもフォーム画面をご覧いただけますが受付はできません。

製作者本人用



プロデューサー用



コラボ用



読み込めない方は下記URLへ

<https://kyokai.kougeihin.jp/kouboten/>

10月31日(火) 〆切 【製作者本人用】
2023年度 全国伝統的工芸品公募展 応募
フォーム

※応募期限を過ぎた場合には受付いたしかねます。
※正式名称にてご記入ください(原則、訂正不可)。
※★印が付いている項目と年齢(2023/11/01を基準として生年月日より算出)は、展示の作品紹介カードに印字されます。

送信ボタンを押して応募を完了してください。ご応募ありがとうございました。

確認事項があった場合にはご連絡をさせていただきます。全国伝統的工芸品公募展に関する最新情報は、一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会のwebサイトにて確認いただけます。

<https://kyokai.kougeihin.jp/>

回答のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。

戻る

送信

9/9 ページ

フォームをクリア

10月31日(火) 〆切 【製作者本人用】
2023年度 全国伝統的工芸品公募展 応募
フォーム

回答を記録しました

[別の回答を送信](#)

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

● フォームに必要事項を入力し回答を送信

設問に答えてページ下部の「次へ」を押す

「送信」ボタンを押して回答を送信

● 送信完了画面

送信完了画面(右図)が出たら応募完了！

方法② 郵送で申し込み手順

★6ページのWeb申し込みをご利用いただけない方は郵送で応募票をご提出ください。

●同封の応募票を使用または下記サイトよりダウンロード

QR :



URL : <https://kyokai.kougeihin.jp/kouboten>

●応募票提出先

住所：〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-22

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 企画部(公募展事務局)

●提出期間

2023年10月1日(日)～10月31日(火) 必着

●注意事項

- **応募票を作品に同梱して送付しないでください。**同梱された場合、受付は出来かねます。
- 協会へ送付する前にお手元に1部コピーをご用意ください。後日問い合わせをする場合があります。

●記入例

製作者本人用：13ページ参照

プロデューサー用：HPをご覧ください(URL : <https://kyokai.kougeihin.jp/kouboten>)

コラボ用：HPをご覧ください(URL : <https://kyokai.kougeihin.jp/kouboten>)

納付期間内に協会指定口座へお納めください。

納付期間：2023年10月1日(日)～11月3日(金) ※11月3日(金)着金厳守

●**応募手数料(銀行振込のみ)**

金額：出品数1点または1組につき**5,500円** ※振込手数料は応募者負担

納付先：一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

(ザイ)デントウテキコウゲイヒンサンギョウシンコウキョウカイ

振替口座：00140-6-253556

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
預金種目	当座
店名	〇一九店(ゼロイチキョウ店)
口座番号	0253556

●**注意事項**

- ・ 納付された応募手数料は返却いたしません。
- ・ 複数応募する場合は合計額を一括納付すること。
- ・ 振込時の「依頼人名」は応募者名と同一のものにすること。
- ・ 組合や団体等でまとめて支払う場合は、どの応募者分か記載すること。
- ・ 現金での直接のお支払いおよび現金書留は不可。

●「作品送付表」を記入し貼り付ける(14ページ参照)

- ・ 14ページ掲載の【作品送付表：外箱貼付用】及び【作品送付表：本体・化粧箱貼付用】をコピーまたは切り離して記入する。
- ・ 外装梱包(外箱)に【作品送付表：外箱貼付用】を貼り付ける。
- ・ 作品と化粧箱に【作品送付表：本体・化粧箱貼付用】を貼り付ける。

●注意事項

- ・ 送付表は作品に直接セロテープ等で貼り付けてください。なお、作品から剥がれる可能性がある場合は、剥がれない方法で貼り付けてください。(例：反物は隠れる場所に糸で仮縫いするなど)
- ・ 表面(正面)に外せない形で貼らないようにご注意ください。なお、一般来場者に向けた展示を実施する関係で展示の際に隠れない場合は本票を外す可能性がございます。
- ・ 複数作品応募される場合は、14ページ掲載の【作品送付表：本体・化粧箱貼付用】をそれぞれの作品に必ず貼り付けてください。

●参考：図

【作品送付表：外箱貼付用】を郵送時の一番外側の箱(ダンボール等)の見やすい位置に貼り付ける。

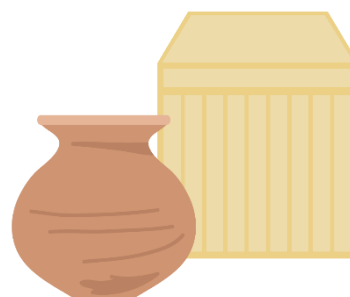
【作品送付表：外箱貼付用】

2023年全国伝統的工芸品公募展		
送付先	住所	〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22 2F
	荷受人	一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 企画部
	電話	☎：03-6432-9335
応募者	工芸品名	●●焼
	作品名	●●焼の壺
	氏名	伝産 太郎
	住所	〒123-4567 ●●県●●市●●町 1-2-3 ●●ビル4階
	電話	☎：123 - 456 - 7890



【作品送付表：本体・化粧箱貼付用】を作品の裏側(作品の正面を展示した際に見えにくい位置)と作品の化粧箱の外側(見えやすい位置)に貼り付ける。

2023年全国伝統的工芸品公募展	
工芸品名	●●焼
作品名	●●焼の壺
応募者氏名	伝産 太郎



送付または協会への直接持ち込みのどちらかで作品を搬入してください。

●送付および直接搬入期間

送付：2023年11月6日(月)～11月8日(水)必着

直接搬入：2023年11月7日(火)～11月8日(水) 午前 11：00～13：00 / 午後 14：00～16：00

●送付及び搬入場所

住所：〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-22 2F

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 企画部(公募展事務局) 宛

●送付の際の注意事項

- 全ての作品に14ページ掲載の作品送付表が貼られているか今一度ご確認ください。
- 追跡が可能な方法で発送してください。
- 伝産協会宛に着日指定でお送りください。(平日の午前中～16：00指定)
- 送料は応募者の負担とします。

●直接搬入の際の注意事項

- 搬入する日時を応募票に記載してください。
- お車で搬入される場合の有料駐車場利用料金は応募者負担です。

●注意事項(共通)

・国立新美術館への直接の送付・搬入は固くお断りします。

- 運送中のトラブル(紛失・破損など)について主催者は責任を負いません。
- 家具や仏壇など組み立てを要する作品については別途ご相談ください。(ただし委託展示が可能なものに限る)
- 主催者は返送までの間、厳重に保管・保全に務めますが、天災およびその他不可抗力によって生じた損害についてはその責任を負いません。
- 国立新美術館及び伝統工芸青山スクエアでの展示の際には最大限の注意をいたしますが、万が一破損等が発生した場合は上代の7割(高額作品に関しては弁済額要相談)にて弁済いたします。

会場の都合上、全応募作品の搬出返送は当協会が行います。**(直接搬出はできません)**

●返送時期

入選外：国立新美術館での展示会終了後順次返送いたします。

入選：伝統工芸 青山スクエアでの展示会終了後順次返送いたします。

入賞：授賞式終了後順次返送いたします。

●注意事項

- ・ 返送時期は入賞・入選・入選外によって異なります。
- ・ 返送時の日時指定はできかねます。
- ・ 返送費は協会負担ですが、運送保険料は上代の7割の金額(上限30万円)にて付保いたしますのでご了承ください。

●審査結果発表

受賞者および入選者は、審査会翌日中に「協会HPのお知らせ」へ掲載するほか、およそ1週間後に速報を郵送いたします。また、作品情報の確認をする場合がございますのでご対応をお願いいたします。

URL : <https://kyokai.kougeihin.jp/>

●審査委員(予定/順不同)

内田 篤呉	MOA美術館・箱根美術館館長
宇野 万貴子	株式会社 高島屋 MD本部 呉服部 日本橋店呉服部長
不動 美里	姫路市立美術館 館長
黒川 廣子	東京藝術大学 大学美術館 館長・教授
十四代 今泉 今右衛門	陶芸家 公益社団法人日本工芸会副理事長 重要無形文化財「色絵磁器」保持者
田中 敦子	工芸ライター
棚町 敦子	「美しいキモノ」エディトリアル スーパーバイザー
塚本 裕之	経済産業省 製造産業局 伝統的工芸品産業室 室長
戸田 敏夫	日本伝統工芸士会 会長
日野 明子	クラフトバイヤー
増村 紀一郎	漆芸家 東京藝術大学名誉教授 重要無形文化財「髹漆」保持者
御手洗 照子	有限会社T-POT 代表取締役 株式会社 t. gallery 代表取締役
原田 元	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 代表理事

●賞

内閣総理大臣賞	1点	30万円
経済産業大臣賞	1点	20万円
経済産業省製造産業局長賞	1点	10万円
中小企業庁長官賞	1点	3万円
日本商工会議所会頭賞	1点	3万円
全国商工会連合会会長賞	1点	3万円
全国中小企業団体中央会会長賞	1点	3万円
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞	1点	3万円
日本伝統工芸士会会長賞	1点	3万円
若手奨励賞(重複可)※製作者全員の従事年数15年以下が対象	若干	2万円
バイヤー賞(重複可)	若干	2万円

郵送でご提出の際はこちらを参考にしてください。プロデューサーまたはコラボでご応募の方の記入例は公募展HP(URL : <https://kyokai.kougaihin.jp/kouboten>)をご覧ください。

スマホ・パソコンで簡単に応募できるフォームができました！(詳細は6ページへ)

●注意事項

- 応募票を作品と同梱して送付しないでください。同梱された場合、受付は出来かねます。
- 協会へ送付する前にお手元に1部コピーをご用意ください。後日問い合わせをする場合があります。

2023年度 全国伝統的工芸品公募展 応募票		制作者本人用	
<p>【応募〆切】10月31日(火)必着 出品手数料：5,500円 ※この用紙での応募受付は郵送のみとなります(FAX不可)。 楷書で、正式名称にてご記入ください(原則、訂正不可) ★印が付いている項目と年齢は、展示の作品紹介カードに印字されます。 個人名(代表者名)と企業名を両方記入する場合は、どちらを展示の紹介カードに記載させたいかお選びください。</p>			
個人情報の公開について	国立新美術館などでの一般公開時には個人情報のうち【氏名・性別・年齢(生年月日より算出)・都道府県・従事年数】を公開いたします。ご応募いただいた時点で本展示会での個人情報の公開について同意したものとみなします。ご了承の上ご応募ください。		
応募者情報(企業・グループで応募の場合には代表者をご記入ください)			
よみがな	やまだ はなこ		展示の紹介カードにはどちらを記載しますか
★氏名	山田 花子	氏名・企業名 (どちらかを〇で囲んでください)	複数作品を応募している <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
よみがな	でんさんとうき かぶしが いしや		★性別
企業名 (グループ名)	伝産陶器 株式会社	★従事年数	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 20 年
生年月日	西暦 1975 年 6 月 1 日	E-MAIL	kouboten@kougai.or.jp
住所	〒 1070052	TEL	03 (5785) 1001
	東京 都道府県 港区赤坂 8 - 1 - 22		
作品返送先 または同上と記入	〒	TEL	()
	同上 都道府県		
応募作品情報			
★指定区分	<input type="checkbox"/> 伝統的工芸品 (経済産業大臣指定) <input checked="" type="checkbox"/> 都道府県指定：東京 都道府県		<input type="checkbox"/> 指定外：都道府県
よみがな	あかさかやき		
★工芸品名	赤坂焼		
よみがな	れいわ ちゃのみどうぐ 「きんさいきゅうす ゆのみぞろい」		
★作品名	REIWA 茶呑み道具 「金彩急須 湯呑み揃」		
★業種	<input type="checkbox"/> 織物 <input type="checkbox"/> 染織品 <input type="checkbox"/> 繊維製品 <input checked="" type="checkbox"/> 陶磁器 <input type="checkbox"/> 漆器 <input type="checkbox"/> 木工品 <input type="checkbox"/> 竹工品 <input type="checkbox"/> 金工品 <input type="checkbox"/> 仏壇・仏具 <input type="checkbox"/> 和紙 <input type="checkbox"/> 文具 <input type="checkbox"/> 石工品 <input type="checkbox"/> 人形・こけし <input type="checkbox"/> 繕工芸 <input type="checkbox"/> 材料・用具		
★技術・技法 40字以内	たたら成形、急須の注ぎ口に金彩釉		
★原材料 40字以内	天草陶石	製作寸法 (cm)	径13cm 高さ10cm 容量0.7L
★構成・用途 40字以内	急須、湯飲み5客のセット、煎茶用		
使用補足	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 壁面取り付け <input type="checkbox"/> 要電源 <input type="checkbox"/> その他(詳細を記入)：		
★ターゲット層 40字以内	おもてなしもひとり時間も楽しみたい、20代～40代の女性。		
★PRポイント ※ですます調 100字以内	赤坂焼の特徴である滑らかな土味を生かし、飲み口は薄く仕上げて口当たりを良くしました。		
販売価格 (税抜)	本体(セット価格)： 10,000円	ばら(単品価格)：	急須 5,000円 湯呑 2,000円
箱の有無	<input type="checkbox"/> 木箱 <input type="checkbox"/> 桐箱 <input checked="" type="checkbox"/> 紙箱 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他(詳細を記入)		
箱の価格 (税抜)	<input type="checkbox"/> 本体価格に含む <input checked="" type="checkbox"/> 別売り(価格を記入)： 500円		
発売状況	<input type="checkbox"/> 発売済 <input checked="" type="checkbox"/> 未発売	販売単位 (個、枚など)	個 製作納期 4 ヶ月
搬入日	<input type="checkbox"/> 直接搬入：11月7日(火) <input type="checkbox"/> 直接搬入：11月8日(水) <input checked="" type="checkbox"/> 送付：11月6日(月)～8日(水)		
応募動機	<input type="checkbox"/> 協会からの案内 <input type="checkbox"/> 産地組合からの案内 <input type="checkbox"/> 都道府県からの案内 <input checked="" type="checkbox"/> HPでの案内 <input type="checkbox"/> 情報誌などを見て <input type="checkbox"/> 国立新美術館で開催されるから <input type="checkbox"/> 過去にも応募したことがあるから <input type="checkbox"/> その他：		

貼り方の詳細は9ページを必ずご確認ください。

【作品送付表：外箱貼付用】

2023 年全国伝統的工芸品公募展		
送 付 先	住 所	〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22 2F
	荷受人	一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 企画部
	電 話	☎ : 03-6432-9335
応 募 者	工芸品名	
	作品名	
	氏 名	
	住 所	〒□□□-□□□□
	電 話	☎ : - -

【作品送付表：本体・化粧箱貼付用】

作品紛失を防ぐ為、下記送付票を切り取って、応募作品の本体と化粧箱に必ず貼付して下さい。

2023 年全国伝統的工芸品公募展	
工芸品名	
作品名	
応募者氏名	

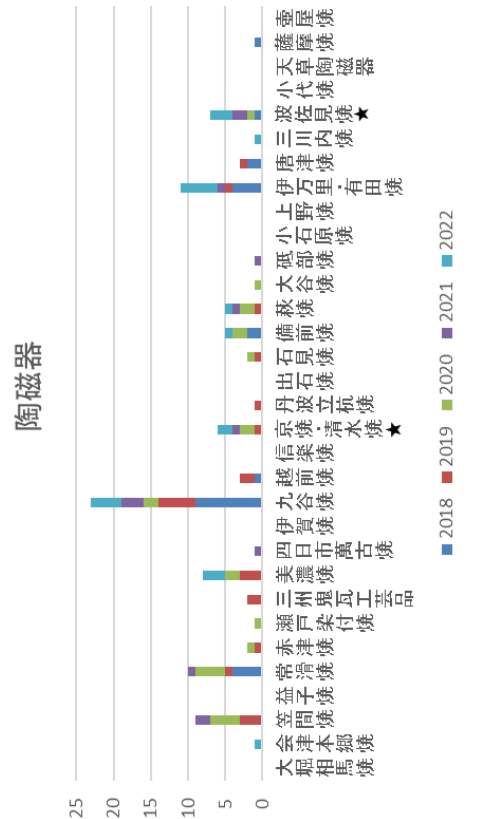
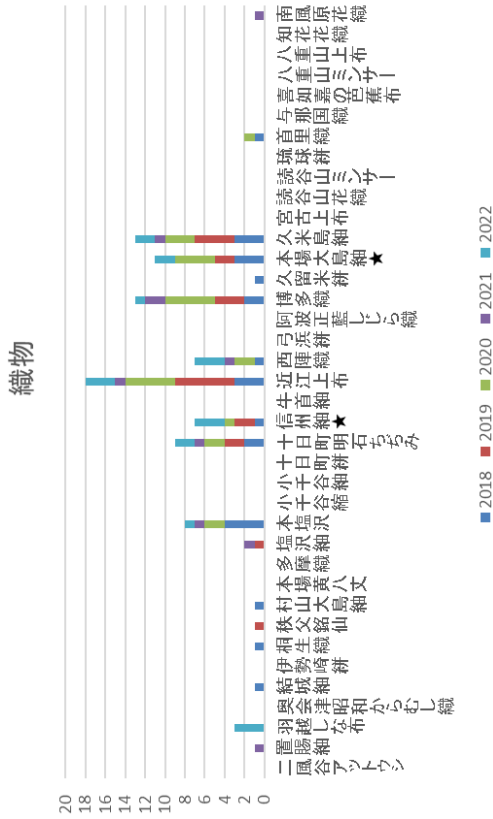
2023 年全国伝統的工芸品公募展	
工芸品名	
作品名	
応募者氏名	

作品に直接セロテープ等で貼付ください。表面(正面)に外せない形で貼らないようご注意ください。

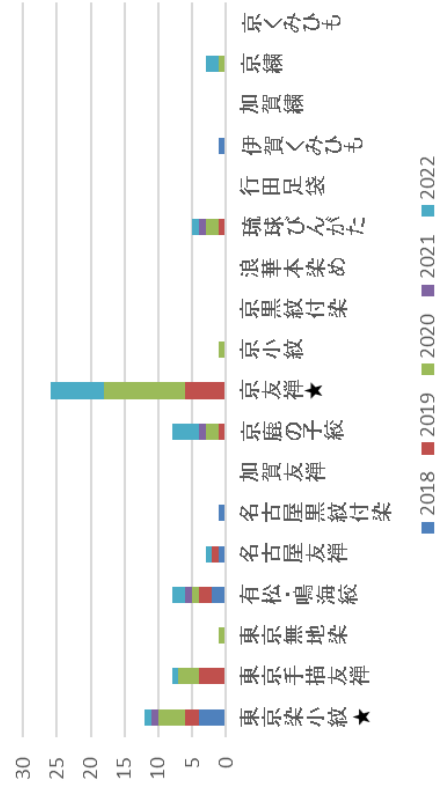


●過去5年間の業種別応募状況

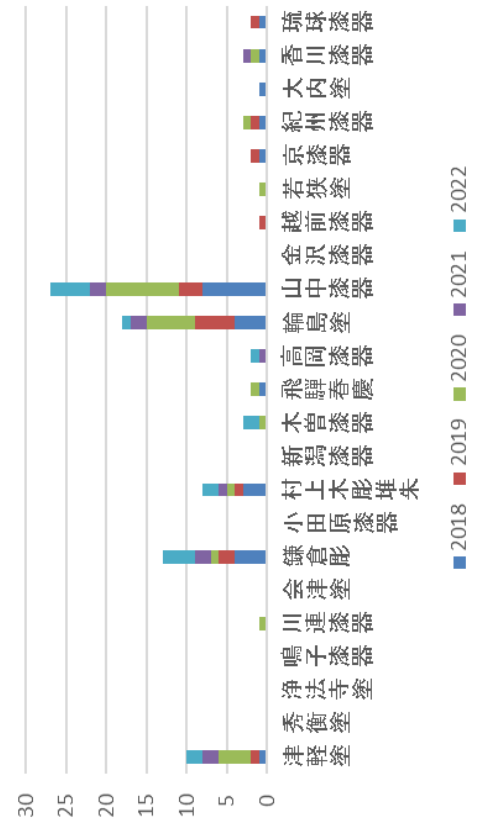
★印：昨年の入賞産地



染色品/その他繊維製品



漆器



「消費者のニーズは多種多様であり、変化し続ける」

- ・現代生活といっても地域差、経済差、世代差など一様ではありません。今の人に作品を見て「これほしい！」と思わせるものが求められますので生きた情報にアンテナをはることが大切。見慣れたものでは満足されないのが現状かと思えます。
- ・生活様式の変化とともに、建築様式も大きく変わり、今では量の部屋がまったくない家もあります。さすれば使う道具も大きく変わるのも当然のことでしょう。そうした時代の流れや変化を意識したことが読み取れると良いと思います。

「色使いも重要。配色に工夫を。」

- ・配色の工夫で同じ形でも印象がかなり変わることもあります。その工夫だけで、購入しやすい価格帯に移行でき、デザイン性とそれに見合った価格を兼ね備えた作品に仕上がる可能性も出てくるかと思えます。
- ・作品の中にはインテリアなら色や柄にもうひと捻り欲しいなと思うようなものもあり、その用途を考慮した色やデザインに更なる工夫も期待します。

「広く世の中の動きを捉え、縦の動きと横の動きを知る。」

時代にUP DATEということは自分のジャンル、直接自分にかかわりのある情報だけでなく広く今の世の中の動きをとらえるといいと思います。また時代的な縦の流れと今世界でどのようなものが作られているのかの横の動きを知ることで世界マーケットの中で戦える商品が生まれてくると思います。

「具体的な“市場”を意識して、自分だけの物差しにとらわれず広い視野が必要」

- ・一人の人間が考える市場性など、たかが知れています。まず、関わっている工芸品の本質的な魅力を掘り下げて、その魅力を引き出す現代的なアイテムを考えることではないかと思えます。現代的なアイテムに、工芸を加飾のように添えても、魅力はありません。自分の財布、自分の生活空間にはとらわれず、こんなものがあったら楽しいな、幸せだな、という大きいスケールで考えることが大事。市場をどこに置かかを具体的にイメージすることをまず言語化してはと思います。
- ・本公募展は「生活に取り入れたい！」と思える消費者の意識をとらえた作品を求めています。美術工芸品ではなく、産業工芸として生きる作品に期待します。

「どんな人にどんな場面で使ってほしいかを具体的に思い描いて。」

- ・価値観が多様化、急速に変化している今の時代、時代に合わせて小細工するよりも、特別なシチュエーションを考えて物作りをすることが大切になっています。大ヒット商品が、一人の人をイメージして生まれたりすることはよくあります。複数で買うから高価なものも可能なお祝いの品、家でお祝いする節句の品、ライフスタイルの変化、終活、人生百年時代にふさわしいもの、一生もの、受け継いで欲しいもの、使い育てができるもの、断捨離後の暮らしの彩る美しい本物、キーワードはたくさんあります。
- ・「上品な」等の主観に左右されるような形容句ではなく、客観性のある具体的な設定があるとより見た人にその作品がどのような場面で輝くか伝えることが出来ると思えます。
- ・単に価格が安い、色柄がきれいというだけでは、現代の消費者の琴線には響かないので、まずはターゲットを定めて、どんな人に、どんなシチュエーションで使ってほしい作品なのかの掘り下げると良いと思います。

「異業種とのコラボなど意外性のある新境地を開拓。」

- ・ファッションやアートなど異業種とのコラボレーションを模索することで、表現の幅が広がり、新境地が開拓できると思えます。また、そちらの業界のファン層を引き入れることが出来ます。
- ・もっとかけ離れたジャンルの組み合わせで、意外性のある新たな価値を生み出してほしい。（相互補完的な関係性の組み合わせ、例えば、ファッションブランド×伝統工芸、または、アーティスト×伝統工芸など）

「新たな試みやアイデアの捻出、見ごたえのある鮮度のある作品を。」

- ・作り手さん達には、躊躇することなく、思い切り創作していただきたい。
- ・プロデューサーの方はもっと、もう少し踏み込んで技術を理解し、今の時代にあった力ある造形、唸るようなアイデアを出してほしいと思う。
- ・表面的なデザインは、伝統的工芸品とは相容れないもののように思います。頭で考える現代生活は、絵空事になりかねません。各技法の見どころ、見応えを存分に発揮した上で、もう少しスケール感のある、鮮度ある、そんな作品を見たいです。

★本冊子（応募要項）・ポスター・チラシを追加でご希望の場合は、
メールで事務局(kouboten@kougei.or.jp)までご連絡ください。
※数に限りがございます

★各種書類は公式WEBページでもご覧いただけます

<https://kyokai.kougeihin.jp/kouboten/>



問合せ先：一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 公募展事務局
TEL 03-6432-9335 / メール kouboten@kougei.or.jp